

平成23年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月14日

上場会社名 株式会社 カワサキ 上場取引所 大
 コード番号 3045 URL http://www.kawasaki-corp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 治
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 堀田 義行 (TEL) 072(439)8011
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年8月期第3四半期の連結業績(平成22年9月1日～平成23年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第3四半期	1,950	△6.9	303	36.8	337	—	195	—
22年8月期第3四半期	2,095	△4.5	221	66.4	△29	—	△30	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年8月期第3四半期	157 57	—
22年8月期第3四半期	△24 56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年8月期第3四半期	7,248	3,470	47.9	2,800 09
22年8月期	7,605	3,304	43.4	2,665 99

(参考) 自己資本 23年8月期第3四半期 3,470百万円 22年8月期 3,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年8月期	—	11 25	—	11 25	22 50
23年8月期	—	11 25	—	—	—
23年8月期(予想)	—	—	—	11 25	22 50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年8月期の連結業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	2,582	△2.5	259	35.6	186	—	98	—	79 06	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 4「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年8月期3Q	1,450,500株	22年8月期	1,450,500株
23年8月期3Q	211,096株	22年8月期	211,024株
23年8月期3Q	1,239,404株	22年8月期3Q	1,252,854株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間（平成23年3月1日～平成23年5月31日）におけるわが国経済は、昨年来の海外経済の改善や、政府の景気刺激策などを背景に景気は緩やかな回復傾向にありました。しかしながら、不安定な海外景気や円高市場に加え、3月に発生した東日本大震災による甚大な被害とその後の原子力発電所事故の影響から、消費者の自粛ムードの拡大や、生活防衛意識の高まりなどにより、個人消費は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの服飾事業におきましては前連結会計年度に引き続き新規取引先の開拓を進めました。賃貸・倉庫事業におきましては前連結会計年度に取得した賃貸物件の賃貸先募集を進めました。これらの結果により、当第3四半期連結会計期間の連結業績は売上高647,941千円（前年同四半期連結会計期間比11.4%の減少）、経常利益165,210千円（前年同四半期連結会計期間比279.7%の増加）となりました。この主な要因は、販売管理費の改善、賃貸倉庫の経費削減等によるものであります。以上の結果、四半期純利益は107,490千円（前年同四半期連結会計期間比222.0%の増加）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①服飾事業

当事業部門におきましては、前連結会計年度に引き続き直営店展開と新規取引先の開拓を進めました。売上高は495,217千円（前年同四半期連結会計期間比15.8%の減少）、営業利益は47,021千円（前年同四半期連結会計期間比0.9%の減少）となりました。

②賃貸・倉庫事業

当事業部門におきましては、売上高は新規賃貸先増により、152,724千円（前年同四半期連結会計期間比6.5%の増加）、営業利益は69,919千円（前年同四半期連結会計期間比24.9%の増加）となりました。

③不動産仲介業

当事業部門におきましては、当四半期連結会計期間においてセグメント間取引での売上高が2,400千円（前年同四半期連結会計期間比52.8%の減少）となり、営業利益は1,099千円（前年同四半期連結会計期間比44.7%の減少）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて102,741千円（7.0%）減少し、1,373,654千円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が56,315千円増加したものの、現金及び預金が132,199千円、商品及び製品が8,260千円減少したことによるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて254,365千円（4.1%）減少し、5,875,219千円となりました。この主な要因は、建物及び構築物が99,615千円、土地が32,400千円、投資その他の資産が118,117千円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて410,604千円（11.9%）減少し、3,040,443千円となりました。この主な要因は、短期借入金が250,000千円、通貨ス

ワップ契約等が126,113千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて112,509千円(13.2%)減少し、737,991千円となりました。この主な要因は、長期借入金の減少118,080千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて166,007千円(5.0%)増加し、3,470,438千円となりました。この主な要因は、四半期純利益の計上195,294千円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期連結会計期間末に比べて88,048千円減少し、251,723千円(前年同四半期連結会計期間末比25.9%の減少)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益165,219千円、減価償却費43,455千円、為替差損11,253千円となりましたが、売上債権の増加額17,395千円、たな卸資産の増加額19,437千円、仕入債務の減少額31,554千円、通貨スワップ契約等の減少額73,657千円により営業活動によるキャッシュ・フローは90,056千円の収入(前年同四半期連結会計期間は149,258千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出が5,841千円、無形固定資産の取得による支出が475千円あり、当第3四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは6,066千円の支出(前年同四半期連結会計期間は2,528千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純減少50,000千円、長期借入金の返済による支出39,360千円により当第3四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは103,303千円の支出(前年同四半期連結会計期間は365,384千円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月8日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1 四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3 四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は1,288千円減少し、税金等調整前四半期純利益は14,493千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、27,698千円であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	251,723	383,923
受取手形及び売掛金	255,006	198,691
商品及び製品	644,016	652,276
原材料及び貯蔵品	80,025	87,791
その他	144,198	155,120
貸倒引当金	△1,317	△1,407
流動資産合計	1,373,654	1,476,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,120,580	2,220,195
土地	3,442,330	3,474,730
その他(純額)	27,154	30,929
有形固定資産合計	5,590,064	5,725,855
無形固定資産	19,208	19,665
投資その他の資産		
その他	272,346	390,464
貸倒引当金	△6,400	△6,400
投資その他の資産合計	265,946	384,063
固定資産合計	5,875,219	6,129,585
資産合計	7,248,874	7,605,981

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,544	29,687
短期借入金	1,850,000	2,100,000
未払法人税等	6,605	3,924
賞与引当金	10,845	6,487
通貨スワップ契約等	807,578	933,692
その他	342,869	377,256
流動負債合計	3,040,443	3,451,048
固定負債		
長期借入金	372,670	490,750
役員退職慰労引当金	170,549	165,449
資産除去債務	28,086	—
負ののれん	27,670	39,529
その他	139,014	154,772
固定負債合計	737,991	850,501
負債合計	3,778,435	4,301,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	468,338	468,338
利益剰余金	2,720,347	2,552,940
自己株式	△280,676	△280,606
株主資本合計	3,472,309	3,304,972
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,870	△540
評価・換算差額等合計	△1,870	△540
純資産合計	3,470,438	3,304,431
負債純資産合計	7,248,874	7,605,981

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)
売上高	2,095,909	1,950,388
売上原価	1,028,577	894,203
売上総利益	1,067,331	1,056,184
販売費及び一般管理費	845,452	752,639
営業利益	221,879	303,545
営業外収益		
受取利息	254	68
受取配当金	230	—
為替差益	—	33,835
負ののれん償却額	11,858	11,858
その他	3,257	1,328
営業外収益合計	15,600	47,091
営業外費用		
支払利息	23,362	13,002
為替差損	239,419	—
その他	4,528	475
営業外費用合計	267,311	13,478
経常利益又は経常損失(△)	△29,832	337,158
特別利益		
その他	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産売却損	36,045	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,204
特別損失合計	36,045	13,204
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△65,877	323,962
法人税、住民税及び事業税	1,756	1,675
法人税等調整額	△36,859	126,991
法人税等合計	△35,102	128,667
少数株主損益調整前四半期純利益	—	195,294
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△30,774	195,294

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	731,713	647,941
売上原価	346,443	291,641
売上総利益	385,270	356,299
販売費及び一般管理費	279,605	237,913
営業利益	105,664	118,385
営業外収益		
受取利息	71	12
為替差益	—	46,220
負ののれん償却額	3,952	3,952
その他	1,985	814
営業外収益合計	6,010	50,999
営業外費用		
支払利息	6,299	4,129
為替差損	60,232	—
その他	1,634	45
営業外費用合計	68,165	4,174
経常利益	43,509	165,210
特別利益		
その他	—	8
特別利益合計	—	8
税金等調整前四半期純利益	43,509	165,219
法人税、住民税及び事業税	567	519
法人税等調整額	9,556	57,209
法人税等合計	10,124	57,728
少数株主損益調整前四半期純利益	—	107,490
四半期純利益	33,384	107,490

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△65,877	323,962
減価償却費	135,214	130,374
負ののれん償却額	△11,858	△11,858
支払利息	23,362	13,002
為替差損益(△は益)	32,046	45,041
固定資産売却損益(△は益)	36,045	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,204
売上債権の増減額(△は増加)	△94,169	△56,315
たな卸資産の増減額(△は増加)	86,484	16,025
仕入債務の増減額(△は減少)	6,272	△7,143
通貨スワップ契約等の増減額(△は減少)	186,498	△126,113
その他	86,548	△33,332
小計	420,567	306,847
利息及び配当金の受取額	484	68
利息の支払額	△21,617	△12,701
法人税等の支払額	△1,795	△907
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,637	293,306
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△37,675	△13,596
有形固定資産の売却による収入	226,053	32,415
その他	12,060	△2,775
投資活動によるキャッシュ・フロー	200,437	16,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	350,000	△250,000
長期借入れによる収入	32,000	—
長期借入金の返済による支出	△816,200	△118,551
自己株式の取得による支出	△36,926	△69
配当金の支払額	△28,241	△27,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	△499,368	△396,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32,046	△45,041
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	66,660	△132,199
現金及び現金同等物の期首残高	273,112	383,923
現金及び現金同等物の四半期末残高	339,772	251,723

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)

	服飾事業 (千円)	賃貸・倉庫 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	588,368	143,345	—	731,713	—	731,713
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	2,921	5,090	8,015	(8,015)	—
計	588,371	146,266	5,090	739,728	(8,015)	731,713
営業利益	47,461	55,959	1,989	105,410	253	105,664

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウェア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)

	服飾事業 (千円)	倉庫・賃貸 事業 (千円)	不動産 仲介業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,695,169	400,739	—	2,095,909	—	2,095,909
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	31	9,141	18,386	27,559	(27,559)	—
計	1,695,200	409,881	18,386	2,123,468	(27,559)	2,095,909
営業利益	77,546	141,371	8,374	227,292	(5,413)	221,879

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

- (1) 服飾事業……………シニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウェア(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品
- (2) 賃貸・倉庫事業……………不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業
- (3) 不動産仲介業……………不動産の賃貸及び売買の仲介業

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年5月31日)及び前第3四半期連結累計期間(自 平成21年9月1日 至 平成22年5月31日)において、海外売上高がないため該当事項はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社及び連結子会社を構成単位とする財務情報に基づき、事業の種類別に区分した単位により事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業の種類に基づき、「服飾事業」、「賃貸・倉庫事業」、「不動産仲介業」を報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な内容は、次のとおりであります。

服飾事業……………シェニール織高級タオル、婦人身の回り品(バック、ハンカチ)、婦人ウエア
(ブラウス、セーター)、バス・トイレタリー製品

賃貸・倉庫事業……不動産の賃貸、商品の保管及び荷役の作業

不動産仲介業……不動産の賃貸及び売買の仲介業

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年9月1日 至 平成23年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	不動産 仲介業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,510,268	440,119	—	1,950,388	—	1,950,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9,017	2,400	11,417	△11,417	—
計	1,510,268	449,137	2,400	1,961,805	△11,417	1,950,388
セグメント利益	107,786	193,186	1,099	302,072	1,473	303,545

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去1,388千円及び貸倒引当金の調整85千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	服飾事業	賃貸・倉庫 事業	不動産 仲介業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	495,217	152,724	—	647,941	—	647,941
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	3,158	2,400	5,558	△5,558	—
計	495,217	155,882	2,400	653,499	△5,558	647,941
セグメント利益	47,021	69,919	1,099	118,041	344	118,385

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去462千円及び貸倒引当金の調整△117千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。